

人が幸せに生きる権利



4月26日に、人権擁護委員の宮本さんが、御津南小学校にお花の種を届けに来てくださいました。「人権の花」運動と書かれた看板も一緒に届けてくださいました。「人権」という言葉は、子どもたちにはなかなか難しい言葉です。この「権」には、「権利」という意味があります。人が人らしく生きる権利のことです。分かりやすく言うと「人が幸せに生きる権利」のことです。だれにとっても大切なもの。その大切なものを、どうやったら守っていくことができるのでしょうか。それは、私たち、一人ひとりの「思いやり」の心によって、守っていくことができるのではないかと思います。

今回、お花の種をたくさんいただきました。お花の種をまいて育てていくことで、「思いやりの心」が今よりもっと大きく育ってほしいと願っています。お花は、人間のよう言葉が話せません。毎日様子をよく見て、お水をあげたり、日光に当ててあげたり、肥料をあげたりしてほしいと思います。お花は、だれかが毎日様子を見に来てくれるのを待っています。雨の日は、「今日は雨が降って気持ちがいいね」と声をかけてくれるのを待っています。風が強い日は、「風が強くて、ちょっとしんどいね」と声をかけてくれるのを待っています。太陽が照り付ける時は「ちょっと日影にいきましようね」と声をかけてくれるのを待っています。お花の気持ちになって、きれいなお花が咲くまで、ずっとお世話をし続ける体験を通して、子どもたちの心の中に「思いやりの心」が今以上に育ってほしいと思います。そしてその「思いやりの心」で、自分の近くにいるお友達や、家族、地域の方等、一人ひとりが「幸せな気持ち」で日々を過ごすことができるよう「思いやりの輪」が大きく広がっていつてくれることを願っています。



うれしかった言葉・元気になった言葉

人権の花の贈呈式の後、各学年で振り返りをしたり、1,2年生は「世界に一つだけの花」の絵を描いたりしました。

振り返りの中で、友達に言ってもらってうれしかった言葉や元気になった言葉を思い出してみました。さてさて、子どもたちは、友達のどんな言葉で元気をもらったのでしょうか。少し紹介しますね。

「いっしょに行こう」「だいじょうぶ」「〇〇さんならできるよ」
 「ありがとう」「いっしょにあそぼう」「だいじょうぶ?」「ドンマイ」
 「じょうずだね」「すごいね」「しんばいないよ」「がんばって」
 「ナイスシュート」「いっしょにやろう」「おめでとう」
 「だいじょうぶだって オレも失敗するもん」「たすかった」
 「だいじょうぶだよ またやり直せばいい」「そういうこともあるよ」

人権の花 贈呈式（4月26日）



第1回避難訓練：火災（4月23日）



今年度初めての避難訓練をしました。1年生にとって、小学校での避難訓練は初めてです。非常ベルの大きな音を怖がらないかなとちょっと心配していましたが、みんな担任の先生の指示をよく聞いて避難できていました。「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」のお話をしました。災害はいつ起きるか分かりません。担任の先生がいつもそばにいてくれるとは限りません。どこから出火したのか、落ち着いて放送を聞き、避難経路を通して、避難場所に向かう等、「自分の命は自分で守る」ことのできる、みなみっ子を育てていきます！



1年生を迎える会・春のミニ遠足（4月30日）

